

## 情報処理工学科創設10周年記念特集に寄せて

池上 淳一

Foreword of the Special Edition for the 10th Anniversary  
of Department of Information Processing Engineering.

Jun-ichi IKENOUE

昭和61年、福山大学に情報処理工学科が設置されて以来早くも10年が経過しました。この間、福山大学建学の精神に則り、実学に力を入れた教育に専念し、多数の優れた卒業生を世に送り出してきました。しかしながら、今日の情報処理関係の学問・技術の進歩発展は、実に目覚しく、卒業後高級技術者あるいは研究者として活躍するには、学部における4年間の教育では、不十分であることを痛感しました。そこで、大学院工学研究科内に修士課程情報処理工学専攻の設置を申請し、平成3年に認可、設置されました。さらに引続き平成7年には、電子・電気工学科と協力して博士課程電子情報工学専攻を開設することができました。このように創設以来10年足らずの間に大学院博士課程まで完備した学科に成長しましたことは、学長はじめ学内関係者の御理解・御尽力はもとより関係業界の皆様方の温かい御支援の賜物と感謝致しております。

福山大学は、かねてより開かれた大学を標榜して参りました。開かれた大学であるためには、まず第一に大学のあるがままの姿を広く知っていただくことが大切であります。このような意味で10周年記念行事として、学科の教育内容および研究内容を出版することを計画致しておりましたところ、工学部紀要の編集委員会のご配慮により、同誌の記念特集として発刊していただけることとなりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

情報処理工学科は10年間で何とか形だけは一人前の学科に成長いたしました。今後は、内容を一層充実し、教育ならびに研究の成果を挙げるべく教職員一同努力する覚悟でおりますので、何卒今後共御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。